

平成21年度 一般会計

補正予算 2億4,409万円

平成21年9月定例会を9月3日から24日までの日程で開催。小城市廃棄物の減量推進、適正処理等に関する条例、20年度一般会計決算認定、21年度一般会計補正予算第5号及び第6号など31議案が提出された。20年度決算認定10議案については、特別委員会を設置し、議会閉会中の継続審議となった。諸議案については、一部を修正し原案どおり可決した。(10月以降、国が国庫補助事業の一部を中止するもよう)

人権擁護委員候補者を推薦

平成21年12月31日まで任期満了となるため、平野章氏を推薦する。



平野 章氏

主な事業

生ごみ処理容器を普及

(52万円)

一般家庭で手軽に生ごみの減量化ができる生ごみ処理容器(ダンボールコンポスト・くうたくん)を普及する。普及事業は3年間。



▶生ごみ処理器「くうたくん」環境課でテスト中

女性特有のがん検診へ無料クーポン券

(1,416万円)

子宮頸がん・乳がん検診において、特定の年齢に達した女性に対して、がん検診無料クーポン券及び検診手帳を配布し、受診促進を図り、がんの早期発見、早期治療に結びつける。

地域共生ステーションの設置

(500万円)

子供から高齢者まで、障害の有無に関わらず、誰もが自然に集い、住み慣れた地域の中で安心して生活していくことができるような地域の拠点を新設する。今回、小城市鷲ノ原に設置が予定されており、市内で2番目となる。

宅老所などに火災報知器の設置補助

(350万円)

共生ステーションの施設利用者などの安全確保

安心生活創造事業

(382万円)

地域において、一人暮らし高齢者世帯などへの見守りや買物支援などを行うことにより、一人暮らし高齢者などが地域で安心して暮らせるためのシステムを構築する。

公共施設の整備に県産材を活用

(1,116万円)

間伐などの森林整備の加速化と間伐材などの森林資源を活用した林業・木材産業などの再生を図る。①間伐実施加速事業②私有林の間伐③木造施設整備加速化事業④堀江公民館整備。

山崎地区の農道を整備

(523万円)

樹園地内の農道を舗装して生産物の品質向上、

維持管理費の軽減、走行経費削減効果を図り農業経営の安定を図る。



▶整備が予定されている山崎地区の農道

災害復旧

(815万円)

大雨による農地及び農業用施設に生じた災害を復旧し、農業農村地域の多面的機能の維持を図る。



▶7/24、26の豪雨での被害地(江里山)

県営土地改良事業

(486万円)

筑後川下流土地改良事業により配水されるかんがい用水が容易に取水できるようなパイプラインで整備する事業を県営の基盤整備促進事業として、採択できるよう事前の測量・受益面積の調査及び概算事業費などの計画概要書を作成。

急傾斜地の崩壊を復旧

(1,420万円)

急傾斜地危険区域の指定を受けている地域で7月豪雨で崩壊した法面の復旧及び保全工事。

原田、中善寺、山崎東地区。



▶崩落した中善寺急傾斜地

理科教育設備の整備

(2,501万円)

小中学校の理科の授業時間及び指導内容が変更された。小学校は23年度から、中学校は24年度から実施されるため、新学習指導要領に対応した設備の整備及び老朽化して観察・実験に適さない設備の更新。

3～5歳の子どもに3万6千円の手当

(5,221万円)

不況の中で、全体の個人所得が減少しつつあることから子育て応援特別手当を、平成21年度に限り、第一子まで拡大して実施する国の経済対策としての手当の支給。

「青木繁展」の準備

(161万円)

晩年を小城で過ごした天才画家。「朝日」を描いて百年を迎える年に、青木繁と小城とのかかわりについて市民をはじめ県内外の方々に紹介。平成

22年5月開催予定。



▶来年5月「青木繁展」が予定されている桜城館

総合健康管理システム更新事業

(1,168万円)

市民病院において、休止している人間ドック健診事業の再開や特定保健事業を実施するにあたり、旧式で使い勝手が悪い現在ある検診システムを更新する。



▶市民病院窓口 検診システムが充実される

月額3千円

放課後児童クラブ 負担金

放課後児童クラブは、平成22年4月より時間延長や隔週土曜日開設などサービスの向上を図る。これに伴い事業費が拡大するため、利用者の負担金も3千円となる。

廃棄物の減量推進や適正化を定める条例を制定

一般廃棄物の処理が来年4月から変わることに伴い、次のような趣旨で条例が制定された。

- ① 廃棄物の減量推進
- ② 家庭系、事業の分別
- ③ 収集体制の原則維持
- ④ 市、市民、事業者の責務の明確化
- ⑤ 土地、建物の占有者の協力義務
- ⑥ 資源物の抜き取り防止
- ⑦ ポイ捨て禁止
- ⑧ 立入調査、改善命令
- ⑨ 将来の広域化を見据えた手数料等の改正
- ⑩ 事業系の指定袋導入

意見書

玄海原子力発電所3号機でのプルサーマル実施延期を求める意見書

提案理由

使用済みMOX燃料は放射能が強いため、大変危険で処理が非常に困難である。国が処理の方策を具体的に明らかにする

まで炉への装荷を延期すべきである。

反対討論

国の核燃料サイクル政策も着実に取り組まれ、使用済みMOX燃料の再処理は海外、国内で安全に処理された実績があり、技術的な課題はなく延期を求める根拠はない。採決の結果、賛成8・反対17で否決した。

補正予算6号を減額修正

補正予算6号で、地域活力創造プラン策定事業300万円が提案されたが、総務常任委員会でこの事業を削減する修正案が提出された。

〔原案に対する執行部の提案理由〕

● 総合計画を始めた各種計画の整合性と調和を図り、新たな地域活力の創造を目指す。

〔修正案に対する提案理由〕

● 各種計画は、地元の有識者や市民の見識が生かされた調和のとれたものであり、今回の事業はそれ以上のものは期待できない。
● 財源(まちづくり基金)も趣旨にそわず、必ずしも必要な事業とはいえない。
以上の委員会報告を受け、本議会でも地域活力創造プラン策定事業300万円を減額する修正案に対し、全員賛成で可決した。